

答 申 書

～ 常呂自治区内事業の今後のあり方について～

平成 22 年 12 月
常呂まちづくり協議会

平成22年12月17日

北見市長 小 谷 每 彦 様

常呂まちづくり協議会
会長 清 井 春 男

常呂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成22年9月6日付けで諮問のありました常呂自治区内事業のあり方について、
慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。

～ 答申にあたって～

常呂まちづくり協議会は、平成22年9月6日の第3回協議会において、市長から「常呂自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受け、北見市の将来像『ひと・まち・自然きらめく オホーツク中核都市 - 安心な活力都市 北見 -』の実現に向け議論を重ねてまいりました。

当協議会では、北見市総合計画やこれまでの実施計画にかかる審議経過等を踏まえながら、今後の「常呂自治区におけるまちづくり」を進めるにあたり、懸案となっている各種事業について議論を行いました。

答申にあたりましては、北見市総合計画の基本構想に掲げられた6つの基本目標ごとに各種懸案事業についての審議を行い、協議会としての意見を総括的に取りまとめたほか、常呂自治区としての今後の事業のあり方や優先度についてまとめました。

議論にあたりましては、現下の厳しい財政状況を認識しながらも、常呂自治区の発展方向について率直な議論を積み重ね、取捨選択を実施した結果、9事業を最優先事業として掲げました。

市長におかれましては、第3次実施計画事業等における常呂自治区に関連する事業を選択するにあたりましては、このような議論経過をご理解いただきまして、さらに事業の重要性や緊急性などをご精査いただき、早期に事業を推進していただきますようお願いいたします。

また、北見市の厳しい財政状況の中、限られた財源で効率的にまちづくりを実現していくため、行財政改革に積極的に取り組んでいただくとともに、本協議会で出された意見等については、今後策定される諸計画や行財政運営の中でご配慮いただくようお願いいたします。

常呂自治区内事業の今後のあり方について

～「第3次実施計画」に盛り込むべき事業～

基本目標1．自然と共生する安全・安心のまちづくり

《最優先事業》

防災行政無線整備事業

常呂自治区は、市内で唯一海に面し、常呂川の最下流域でもあることから、津波・洪水による被害の危険性が極めて高い地域であります。特に、津波災害が発生した場合、最も甚大な被害が想定されるのが海岸域です。これを最小限にとどめるためにはスピーディーな情報の伝達が極めて重要であり、防災行政無線の速やかな整備が必要です。

常呂町斎場改修事業

常呂町斎場は、建設からすでに32年を経過し、経年劣化や塩害などにより外壁の落下や雨漏りなど、老朽化が著しい状態にあります。

斎場のあり方については、新市としての効率的な施設利用の観点から、北見自治区の施設を利用する意見もありましたが、距離的なものや冬期間の道路事情などで懸念する意見が多く、また、何よりも自治区住民の心情に配慮した行政サービスという点で、しばらくは自治区に必要な施設であるとの結論に達しました。

現状は、外壁落下の危険性や告别室、収骨場に雨漏りがするなど、施設の運営に支障を来す状況にあることから、早急な改修整備が必要です。



老朽化が著しい常呂町斎場

《優先事業》

ワッカ原生花園環境保全事業



300種もの野生の花々が咲き競う「ワッカ原生花園」

ワッカ原生花園は300種を超える草花が咲き誇る日本最大級の海岸草原で、北海道遺産にも選定される貴重な自然財産であります。近年は雑草や要注意外来生物、特定外来種等の勢力拡大により、貴重な海浜性植物が駆逐される状況にあります。貴重な自然財産を末永く後世に引き継いでいくためにも、植生環境の保全は不可欠であり、当該事業による保護対策の継続的な実施を求めます。

基本目標 2 . 豊かな心と文化を育てるまちづくり

《特別要望事業》

史跡「常呂遺跡」公園整備事業

常呂川河口遺跡埋蔵文化財保存活用整備事業

常呂遺跡世界文化遺産登録推進事業

史跡「常呂遺跡」公園整備事業は、オホーツク文化・アイヌ文化期を主体とする常呂川河口遺跡にかかる事業であり、「ところ遺跡の森」とあわせて北海道固有の連続した各文化期の建物などの復元を行うことにより、地域の歴史や文化、自然教育の学習拠点としての整備を目指すもので、文化財の保護、啓発を進めるうえで重要な事業といえます。

当該事業エリアには常呂森林公園も含まれており、常呂川と森林公園ゾーンを含めた一体的な整備促進に向け、史跡整備専門委員会をはじめ国や北海道など関係機関に積極的に働き掛けるとともに、常呂川河口遺跡埋蔵文化財保存活用整備事業による公開活用により、その重要性を広く周知し、地域振興や経済の活性化に結びつく事業になるよう検討する必要があります。

常呂遺跡世界文化遺産登録推進事業は、常呂遺跡の学術的価値やその重要性を広く知らしめ、多くの人々の理解をいただくための手段として極めて重要な事業であります。

世界文化遺産への登録にあたってはさまざまな課題がありますが、特に地域住民とのかかわりやそれに伴う地域の多様な取り組みが求められるなど、常呂遺跡に対する地域的ベース（地域の力）の確立が、その評価を大きく左右する重要な要因となります。



世界遺産登録を目指す「常呂遺跡」

世界文化遺産登録推進事業をはじめとする、常呂遺跡に関わるさまざまな事業の推進にあたっては、広く市民に理解を深めていただくとともに、北見市全体の取り組みとして積極的な推進が必要です。

《最優先事業》

常呂町カーリングホール整備事業



整備が望まれる常呂町カーリングホール



利用者で賑わう常呂町カーリングホール

常呂町カーリングホールは昭和63年に国内初の屋内専用ホールとして建設され、これまで多くのオリンピック選手を輩出するなど、日本のカーリングの普及と振興発展に大きな役割を果たしております。

しかしながら、建設から23年が経過し、機械設備などを含む施設全体の老朽化や狭あいなどの問題があります。また、近年の大会にあっては、ホッグライン判定装置やライブカメラの設置などの要望があり、ストーンの更新も必要となっております。

また、チェアカーリング（車椅子）の利用など新たなニーズに対応するためには、ユニバーサルデザインを取り入れた施設機能の充実が必要でありますし、カーリングに関わる資料の保存や展示、体験ホールとしての機能を付加することで、カーリングの歴史や楽しさを発信するとともに、地域経済の活性化にもつながると考えます。

カーリングへの注目はますます高まり、他地域における通年型施設の建設やチーム育成の動きが顕著となる中、各方面から開設期間の延長や通年化、国際大会の開催に対する意見や要望が寄せられております。また、世界を目指す有力選手が常呂町カーリングホールを拠点に活動を開始するなど、日本のカーリングの「メッカ」、「聖地」と評され、大きな期待が寄せられています。

カーリングを北見市の代表的なスポーツとして推進していくために、カーリング技術の向上と国際大会などに対応できる施設の整備、さらにはチーム及び選手の育成強化や支援体制の確立など、北見市として積極的に関わりをもって推進していくことを強く望みます。

常呂中学校校舎整備事業

常呂中学校は、建設後36年を経過し、老朽化等の影響から一部教室などにおいて雨漏りが発生しており、教育活動に支障を来さない快適な教育環境を図るためにも、早期改修が必要です。

また、常呂中学校は災害時の避難所に指定されている施設であります。要援護者の受入に対応できる施設になっておらず、避難所機能を高めるとともに、障がいを持つ生徒に配慮した教育環境を確保するために、ユニバーサルデザインを意識した施設整備を望みます。



老朽化が著しい常呂中学校

常呂町健康温水プール整備事業

常呂町健康温水プールは、学校利用や少年団活動をはじめ、健康維持増進施設として多くの市民に利用されています。

しかし、海岸隣接地に建設されていることから、強風や飛砂など自然環境が厳しく、屋根やウッドデッキなどの傷みが著しく、早期改修が必要です。

また、エレベーターなど施設内の各機械設備においても、経年劣化が進んでおり、早期改修整備が必要です。



改修が急がれる常呂町健康温水プール

《優先事業》

常呂町多目的研修センター施設整備事業

移動図書館車更新事業

幼児・児童サービス用蔵書充実事業

常呂町スポーツセンター整備事業

常呂町多目的研修センターは、文化祭や成人式、オホーツク大学などの社会教育活動のほか、各種イベントなどで広く利用される施設であります。建築後27年を経過し、老朽化により大ホールの照明設備や視聴覚室の映像設備に支障が生じております。

特に照明設備においては、絶縁不良により危険な状況にあることから、安全性の確保と施設の適切な利活用を図るためにも、早急な改修整備が必要です。

また、駐車場用地については、長期にわたり借地となっており、借地料も高額であることから、取得に向けて関係者と十分協議が必要であると考えます。

移動図書館サービスは、子どもに対する読書の普及推進、学校の読書支援を図るため、保育所・小学校・中学校を対象に毎月定期的を実施されており、図書館の貸出全体の25%を占めるほど積極的に利用されていますが、これに伴い蔵書に対するリクエストが多く、子どもの読書意欲の向上及び読書環境の充実を図るためにも、蔵書の充実を図る必要があります。

また、この移動図書館サービスを行うために必要な移動図書館車は、初期登録から27年を経過した車両を活用しているため腐食等老朽化が著しく、効率的なサービスを提供できる車両の早期更新が必要です。

常呂町スポーツセンターは、自治区内のスポーツ拠点施設として市民の健康維持や増進のために不可欠な施設であります。開館後34年を経過し、経年劣化によりアリーナの床のきしみが著しく、体育設備やトレーニング機器なども老朽化により利用に支障を来している状況にあることから、安全性の確保と施設の適切な利活用を図るためにも、早期改修が必要です。



経年劣化が著しい常呂町スポーツセンター

基本目標 3 . 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

《優先事業》

福祉バス更新事業

社会福祉事業に係る公用バスとして広く利用されている福祉バスは、まもなく導入後 20 年を迎えますが、塩害等による腐食など老朽化が著しいことから、安心・安全な福祉バスの運行のために、早期更新が必要です。

基本目標 4 . 活力を生み出す産業振興のまちづくり

《最優先事業》

ホタテエキス精製施設整備事業

ホタテエキス精製施設整備事業は、乾貝柱加工の製造過程において発生する煮汁を再資源化する施設の整備であり、衛生管理型漁港として整備を進めている常呂漁港の整備と平行した整備が必要であることから、計画的な事業の実施が必要です。

漁協前公衆トイレ下水道接続・改修事業

当該公衆トイレは、遊漁などで常呂漁港を訪れる一般の人々が利用する汲み取り式の公衆トイレですが、設置されている豊浜地区は、平成 20 年度に下水道の供用が開始されていることから、漁港周辺環境改善と利用者の利便性を図るために、下水道接続及びバリアフリー化の早期実施が必要です。

サロマ湖ワッカネイチャーセンター備品更新事業

サロマ湖ワッカネイチャーセンターのレンタル自転車は、ワッカ原生花園の散策に利用する観光客等が多く、稼働率の高い備品ではありますが、経年劣化が著しい状況にあることから、安全性及び快適性を図るためにも、計画的な更新整備が必要です。

《優先事業》

道営担い手支援畑総事業 常呂土佐地区
道営担い手支援畑総事業 常呂岐阜地区
道営基幹水利ストックマネジメント事業 常呂地区
集落基盤整備事業（基幹水利施設整備型）常呂地区
経営体育成基盤整備事業（畑地帯整備型）常呂豊川地区
経営体育成基盤整備事業（畑地帯整備型）常呂福山地区
経営体育成基盤整備（通作条件整備型）常呂富丘15号
常呂地区排水機場施設設備整備事業
常呂地区幹線排水路維持管理事業
水産基盤整備事業（常呂漁港）
汚水処理施設整備事業（トウフツ地区）
定置作業保管施設整備事業
外海ホタテ漁場水質観測装置導入事業
手工芸の館整備事業
常呂森林公園整備事業
ワッカ原生花園周辺施設整備事業

道営担い手支援畑総事業及び経営体育成基盤整備事業については、総合的な農業生産基盤（区画整理・暗渠排水・客土・土層改良）の整備を実施することで、排水不良等を解消し、農作業の効率化や畑作物の生産性の向上、品質の安定化など農業経営の安定化を図るうえで極めて重要な事業であり、計画的な事業の実施が必要です。



土地改良事業（客土工事）

また、道営基幹水利ストックマネジメント事業、集落基盤整備事業、常呂地区排水機場施設設備整備事業、常呂地区幹線排水路維持管理事業については、常呂自治区内の排水路及び排水機場の整備・補修を実施する事業であり、農作業の安全確保や排水機能の改善、湛水被害の解消を図るためにも、引き続き積極的な推進が必要です。

水産基盤整備事業は、主要漁港である常呂漁港を衛生管理型漁港として整備するものであり、今後の水産業の発展を図るために積極的な推進が必要です。

また、汚水処理施設整備事業（トウフツ地区）外海ホタテ漁場水質観測装置導入事業は、サロマ湖及び外海ホタテ漁場の水質環境の保全、または、水質環境を把握するための重要な事業であり、積極的な推進が必要です。

定置作業保管施設整備事業は、サケ定置漁業における漁業資材の保管施設であり、高価な漁業資材を適切に管理するうえで重要な施設であり、計画的な整備推進を求めます。

基幹産業である農業ならびに水産業においては、引き続き各関係機関に対する要望を行うなど、産業基盤である各施設の整備促進に向け、積極的な働きかけが必要です。

手工芸の館は、地域の文化産業である「流水焼」の普及や体験型観光施設としての役割を担っておりますが、建築後25年が経過し、経年劣化により屋根ならびに外壁の傷みが顕著な状況にあることから、早期改修が必要です。

常呂森林公園は昭和57年にオープンし、市民の憩いの場として多くの方に利用されております。特にパークゴルフ場は、道内各地から多くのプレイヤーが集う人気の高い施設であることから、安全で快適な利用を提供するためにもパークゴルフ場関連施設及びバーベキューハウスの改修整備が必要です。

また、公園内にありますアスレチック遊具、林間歩道連絡橋、東屋については、経年劣化が著しいことから、撤去等安全性を考慮した対応について適時実施していく必要があります。

ワッカ原生花園周辺施設整備事業は、サロマ湖ワッカネイチャーセンターにあります観光馬車格納施設と駐車場の改修であります。いずれもワッカ地区の厳しい自然環境の影響や経年劣化によるものであります。北海道遺産である「ワッカ原生花園」の観光拠点施設の整備であり、観光客誘致の観点からも早期の改修整備が必要です。



ワッカ原生花園の風物詩「観光馬車」

ワッカ地区は、網走国定公園に指定されている景勝地であることから、北海道などの関係機関と連携を図りながら、北見市の主要観光地として積極的に事業展開されることを望みます。

基本目標 5 . 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

《最優先事業》

原水及び浄水施設整備事業（簡易水道）

原水及び浄水施設整備事業は、常呂自治区内住民に良質な生活用水を安定的に供給するための取水及び浄水施設の整備であり、安全で安心な生活環境を確保するためにも、早期改修整備が必要です。

《優先事業》

デジタル道路台帳整備事業

常呂町川東線道路整備事業

常呂町北進町 1 号線道路整備事業

常呂町中央線改築事業

舗装道補修整備事業

常呂町 6 号線道路排水整備事業

常呂地区特定環境保全公共下水道事業（污水管渠）

常呂地区特定環境保全公共下水道事業（雨水管渠）

常呂終末処理場整備事業

送配水施設整備事業（簡易水道）

市営住宅改修改善事業

雪寒補助建設機械等更新事業

デジタル道路台帳整備事業及び各道路整備事業については、道路管理の効率化及び使用頻度の高い生活道路の整備や安全な道路環境を維持するための事業であり、計画的な推進が必要です。

また、常呂町 6 号線道路排水整備事業は、道路排水が民地に流入している状況にあることから、正規な形での排水処理ができるよう早急な対応が必要です。

特定環境公共下水道事業、常呂終末処理場整備事業、送配水施設整備事業（簡易水道）は、市民の生活環境の改善や常呂川などの水質の向上、浸水被害の防止対策、生活用水の安定的供給などを目的とする極めて重要な事業であり、中長期的な視点に立った計画的な事業推進を望みます。

市営住宅改修改善事業は、市営住宅の長寿命化及び居住性向上を図るための事業であり、北見市住宅マスタープラン及び北見市公営住宅等長寿命化計画に基づいた計画的な整備が必要です。

雪寒補助建設機械等更新事業については、冬季除雪作業のための車両の更新であり、安全な道路環境を維持するうえで不可欠なことから、計画的な整備が必要です。

基本目標 6 . 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

《優先事業》

常呂まちづくりパワー支援事業

まちづくりパワー支援事業は、自治区住民が自ら考え、自ら実践するまちづくり活動を支援する事業で、地域住民の市民協働、まちづくりへの参加を進めていくうえで、大変効果の高い事業であることから、引き続き積極的な推進をしていく必要あると考えます。

常呂自治区懸案事業一覧

1．自然と共生する安全・安心のまちづくり

《防災の強化》

1	防災行政無線整備事業	防災行政無線（同報系・移動系）整備に係る設計及び工事施工
2	防災意識啓発事業（津波ハザードマップ作成費）	防災マップ（津波ハザードマップ）印刷

《地球環境保全と循環型社会の構築》

3	常呂污水处理施設機器改修事業	脱窒円板槽機器改修（ 2 ）
4	一般廃棄物処理センタートラックスケール更新事業	トラックスケール更新

《快適な生活空間の整備》

5	墓地霊園整備調査事業	常呂墓園区画造成工事
6	常呂町斎場改修事業	斎場改修設計委託、改修工事

《緑豊かな自然環境の整備》

7	ワッカ原生花園植生調査事業	植生環境調査、自然環境調査
8	ワッカ原生花園環境保全事業	特定外来生物等の駆除

2．豊かな心と文化を育てるまちづくり

《健康教育の推進》

9	給食配送車購入（更新）事業	給食配送車購入
---	---------------	---------

《生涯学習の充実》

10	常呂町多目的研修センター施設整備事業	大ホール照明設備などの改修、駐車場用地の購入
11	移動図書館車更新事業	移動図書館車の更新
12	幼児・児童サービス用蔵書充実事業	児童用蔵書の充実

《小・中学校教育の充実》

13	常呂中学校校舎整備事業	屋上防水工事、バリアフリー化（玄関スロープ・多目的トイレの設置、体育館トイレ洋式化）
----	-------------	--

《生涯スポーツ活動の振興》

14	常呂町スポーツセンター整備事業	バスケットゴール修繕、アリーナ床改修、トイレ改修、トレーニング用機器更新
15	常呂町健康温水プール整備事業	屋根防水改修、ウッドデッキ修繕、機械設備修繕
16	常呂町カーリングホール整備事業	基本設計、実施設計、新築工事、備品購入、外構工事

《文化財の保護・継承》

17	史跡「常呂遺跡」公園整備事業	史跡整備専門委員会議、基本構想・計画書の策定、ガイダンス施設（展示施設）等基本設計
18	常呂川河口遺跡埋蔵文化財保存活用整備事業	解説板、土層堆積板、ビデオソフト、パンフレット作成および駐車場の整備
19	常呂遺跡世界文化遺産登録推進事業	発掘調査、展示会・シンポジウム開催、ステッカー作成

3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

《地域福祉活動の促進》

20	福祉バス更新事業	福祉バス更新（1台）
----	----------	------------

4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

《地域特性を活かした農業の振興》

21	道営担い手支援畑総事業 常呂土佐地区	区画整理、暗渠排水、客土、土層改良
22	道営担い手支援畑総事業 常呂岐阜地区	区画整理、暗渠排水、客土、土層改良、排水路調査設計
23	道営基幹水利ストックマネジメント事業 常呂地区	明渠排水路補修整備
24	集落基盤整備事業(基幹水利施設整備型) 常呂地区	調査設計、排水路整備
25	経営体育成基盤整備事業(畑地帯整備型) 常呂豊川地区	調査計画、調査設計、横断管改修、暗渠排水、客土、土層改良
26	経営体育成基盤整備事業(畑地帯整備型) 常呂福山地区	調査計画、調査設計
27	経営体育成基盤整備(通作条件整備型) 常呂富丘 15号	調査計画
28	基幹水利施設管理推進事業(常呂岐阜排水機場)	維持・運転管理に係る備品等の整備、維持管理費
29	常呂地区明渠排水路取付横断管応急整備事業	明渠排水路横断管(取付道路)応急整備
30	常呂地区排水機場施設設備整備事業	排水機場設備機器等の修繕
31	常呂地区幹線排水路維持管理事業	幹線排水路土砂上げ

《国際競争に強い水産業の推進》

32	水産基盤整備事業(常呂漁港)	外郭施設・水域施設・係留施設・施設用地の整備
33	汚水処理施設整備事業(トウフツ地区)	養殖資材洗浄施設・汚水処理施設整備
34	ホタテエキス精製施設整備事業	ホタテエキス精製施設整備
35	定置作業保管施設整備事業	定置作業保管施設整
36	サロマ湖漁港防水堤維持管理事業	アイスブーム維持管理費補助

37	漁協前公衆トイレ下水道接続・改修事業	下水道接続改修工事、設計委託
38	外海ホタテ漁場水質観測装置導入事業	水質観測装置導入費補助

《活気ある商業活動の促進》

39	手工芸の館整備事業	屋根・外壁の修繕
----	-----------	----------

《新たな観光資源の活用》

40	常呂森林公園整備事業	汚水管新設、パークゴルフ場横トイレ改修、パークゴルフセンターハウス改修、パーベキューハウス改修、アスレチック・林間歩道連絡橋・東屋撤去
41	常呂常南ビーチ海水浴場周辺施設整備事業	トイレ改修
42	滞留着地型観光推進事業	協議会負担金
43	ワッカ原生花園周辺施設整備事業	観光馬車小屋の改修、駐車場改修設計委託・工事
44	サロマ湖ワッカネイチャーセンター備品更新事業	自転車更新、観光看板更新

5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

《道路網の整備》

45	デジタル道路台帳整備事業	現況データ作成
46	常呂町川東線道路整備事業	道路改良工事
47	常呂町北進町1号線道路整備事業	測量設計、道路改良、舗装工事
48	常呂町北進町2号線道路整備事業	測量設計、道路改良、舗装工事
49	常呂町北進町3号線道路整備事業	測量設計

50	常呂町3号線道路整備事業	測量設計、改良舗装工事
51	常呂町中央線改築事業	測量設計、道路改築工事
52	舗装道補修整備事業	舗装道補修
53	常呂町6号線道路排水整備事業	排水施設整備工事
54	常呂町西10線横断管改良事業	測量設計、横断管敷設替
55	幹線側溝マンホール補修事業	マンホール補修

《良好な住宅・住環境の創出》

56	市営住宅改修改善事業	市営住宅改修
----	------------	--------

《水道水の安定供給と下水道の整備》

57	常呂地区特定環境保全公共下水道事業（污水管渠）	公共汚水樹設置
58	常呂地区特定環境保全公共下水道事業（雨水管渠）	下水道雨水管整備
59	常呂終末処理場整備事業	中央監視制御装置更新、空調設備新設、長寿命化計画策定、改築更新設計委託
60	送配水施設整備事業（簡易水道）	配水管敷設替工事、実施設計
61	原水及び浄水施設整備事業（簡易水道）	4号井改修工事、実施設計、隈川取水口改修調査設計

《除排雪体制の強化》

62	雪寒補助建設機械等更新事業	除雪グレーダー更新 1台
----	---------------	--------------

6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

《国際交流・地域間交流の促進》

63	姉妹友好都市交流推進事業	パーヘッド提携記念事業、佐川町・大野町提携記念事業、常呂高等学校振興協議会補助金ほか
----	--------------	--

《住民自治の推進》

64	常呂まちづくりパワー支援事業	自治区独自のまちづくり活動への支援（補助金）
65	住民センター整備事業（常呂自治区）	富丘コミセン・福山コミセン修繕工事

【常呂まちづくり協議会における協議経過】

協議回数	開催日	場所	内 容
1	9月 6日（月） 午後6時00分	常 呂 総合支所	諮 問 常呂自治区内事業の今後のあり方について
2	10月19日（火） 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
3	10月25日（月） 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
4	11月 2日（火） 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
5	12月 3日（金） 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について

【常呂まちづくり協議会委員】

【委嘱期間：H22.6.14～H24.6.13】

	氏 名
委 員	秋 葉 和 雄
委 員	稲 田 昌 代
委 員	大 川 健 志
委 員	葛 西 恭 博
委 員	佐 藤 栄
委 員	澤 向 佳 恵
委 員	新 谷 有 規
委 員	鈴 木 億 宝
会 長	清 井 春 男
委 員	田 淵 正 彰
委 員	寺 町 敬 子
委 員	広 瀬 由 里 子
委 員	三 角 和 之
委 員	室 田 晃
副 会 長	山 内 光 明

50音順